

抄 録

清水潤一 氏

歯科技工のタイムスタディ調査・研究

2023 年度最低労働賃金が 10 月以降から全国平均 1004 円に引き上げられるとともにインボイス制度も始まります。国の指針である働き方改革を歯科技工士が実現するためには経済的問題の解決なくしてはあり得ません。平成 19 年に歯科技工学会が行ったタイムスタディ調査のデータを素に本来歯科技工士が請求すべき適正な技工料金はいくらなのか？を諸外国の歯科事情と共にわかりやすく解説します。

櫻井靖之 氏

歯科技工業界におけるデジタルトランスフォーメーションの勧め

近年、歯科治療にデジタル機器が取り入れられるようになり、我々の行う技工業務においても、従来の作業の多くがデジタル化が進んでいる。例えばハンドメイドで行われていたワックスアップは、CAD ソフト上での作業となり、また鋳造に変わり切削加工機による加工が主たる作業となっている。それにより作業効率の向上などに一定の結果を得ていることは、周知の事実である。但し、デジタル化とは、IT ツールの導入やデジタルデータ・デジタル技術の導入の活用など『戦術』であり、トランスフォーメーション『変化』とは、組織改革やビジネスモデルの変革のことである。この 2 つが併せ持つ DX(デジタルトランスフォーメーション)と言われている。以上を踏まえた上で、弊社が取り組んでいる DX 化『戦略』(歯科治療の質の向上、作業効率のアップ)を紹介したい。